

# 10代 兵庫県

の子どもたち(中高生)の子育て支援ボランティア養成事業

## 8講座

実施団体 特定非営利活動法人 兵庫県子ども文化振興協会

実施日 2004年11月23日(火・祝)・12月19日(日)・2005年1月29日(土)・2月12日(土)

参加人数 のべ105名

	日時	講座名	講師
講座1	11月23日(火)	「命の声を聴く 自己尊重ワークショップ ～フィーリング トレーニング～」 まずは自分の身体をリラックスさせ、次第に心もリラックスでしていく。多感な10代の子どもたちにとって、自分を見つめ直す貴重な機会となった。	手塚 千砂子氏 NPO法人自己尊重プラクティス協会代表理事 心のレススルーム「心のジム テヅカ」主宰
講座2	11月23日(火)	「命の声を聴く 自己尊重ワークショップ ～ラブライト トレーニング～」 自分の周りで尊敬できる人を考える、自分をほめる、相手をほめる…少し照れくさいけれど、だんだん心地よくなって、自分がいとおしくなってきた…かな。	手塚 千砂子氏 NPO法人自己尊重プラクティス協会代表理事 心のレススルーム「心のジム テヅカ」主宰
講座3	12月19日(日)	「保育ってどんなこと?」 子どもが生まれて育っていく中で、両親をはじめ、周囲の人間がどのような関わりを持つのか、自分の育った環境を思い起こしながら様々な状況を知った。	土屋 美恵子氏 NPO法人日本子どもNPOセンター専務理事 武蔵野市議会議員 NPO法人保育サービス ひまわりママ前理事長
講座4	12月19日(日)	「子育ての現状を知ろう ～社会の状況は?～」 現代社会の抱える問題などを学習し、子育てを支援することの重要性について学び、自分なりにできることを考え、発表し合った。	土屋 美恵子氏 NPO法人日本子どもNPOセンター専務理事 武蔵野市議会議員 NPO法人保育サービス ひまわりママ前理事長
講座5	1月29日(土)	「生と性のはなし ～感動!!生まれてくるいのち～」 実際の出産の様子や胎児の成長の様子などをビデオや写真で見た。実物大の胎児や新生児の人形を抱いたり、胎児が産道を下りてくる様子を人体模型を使って学習した。	永原 郁子氏 現在「マナ助産院」を開設。地域の小中高校で性教育の授業や講演会などの活動。
講座6	1月29日(土)	「生と性のはなし ～ちゃんと知っておきたい性の問題～」 10代の性体験や性病、中絶などに関する実際のデータをもとに、自分たちが知っておかなければならない性の問題について学習し、「いのち」に対する責任感を話し合った。	永原 郁子氏 現在「マナ助産院」を開設。地域の小中高校で性教育の授業や講演会などの活動。
講座7	2月12日(土)	「幼い子どもに接してみよう」 乳幼児と接する際の留意点について簡単に説明を受け、各自0～5才の乳幼児を担当して、通常の保育園での生活(遊び・食事・昼寝など)に付き添った。	徳永 満理氏 社会福祉法人おさなご保育園園長。著書「はいはいまたね」や「うーちゃんはいはい」「絵本で育つ子どものことば」「心をたがやす保育」など
講座8	2月12日(土)	「赤ちゃんのからだの発達について学ぼう」 主に0～3才の乳幼児の発達について学習、特に身体的発達だけではなく、心の発達についても学んだことは非常に有意義だった。また、午前中の保育体験などから感じた感想や疑問点などを出し合い、質疑応答を行った。	徳永 満理氏 社会福祉法人おさなご保育園園長。著書「はいはいまたね」や「うーちゃんはいはい」「絵本で育つ子どものことば」「心をたがやす保育」など



## 体験ボランティア

実施団体 特定非営利活動法人 兵庫県子ども文化振興協会

実施日 2005年2月13日(日)・19日(土) 参加人数 のべ29名

	日時	場所	内容
実践1	2月13日(日)	松方ホール(神戸市)	親子向けの人形劇公演(はらぺこあおむし)時、ホールのロビーで0～2才児を託児。
実践2	2月19日(土)	大手幼稚園(神戸市)	休日保育を受け入れている幼稚園で、カリキュラムのない保育時間に2～4才児を保育。個々に遊ぶ時間の後、一緒に紙芝居や絵本の読み聞かせも実践した。
実践3	2月19日(土)	どんぐり文庫(西宮市)	民間の文庫でのお話会の時、0～2才児を託児。

## 事業を終えて

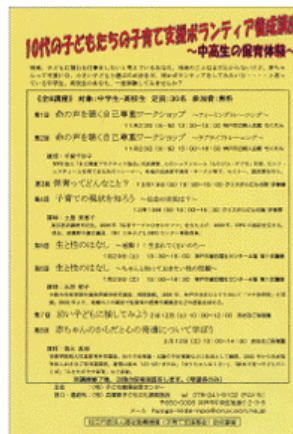
今回の講座の参加者は12～19才と年齢の幅も広く、講座への応募動機も、「将来は子どもに関わる仕事がしたい」という具体的なものから「子どもと遊んだりするのが好きだから」や「なんとなく…」まで様々でした。ですから、講座の内容も最初から保育の専門性を学習するのではなく、「自分の命～大切な新しいいのち」の大切さを実感できるプログラムであったことが非常に効果的であったと思います。

また、7・8回の実技講習を保育園で実施した際、講師の「とにかく一度、遊んでみましょう」の言葉で、子どもたちはいきなり1～3歳児の担当となり、しばらくの間、乳幼児に向きあうことになりました。なかなかついていけない子、どんどん自分の遊びに引っ張っていく子…もちろん、トイレが間に合わず、パンツを濡らしてしまう子も…子どもたちは戸惑いながらも、一生懸命に担当の子と向きあっていました。そ

乳幼児の発達についての講義を受け、子どもたちはそれぞれの実体験に照らし合わせ、大きくうなずくことや新たな疑問などがでたようで、活発に意見が出ました。最終の講座でもあり、次の日から実践を控えていたせいもあったのか、それまででない真剣なまなざしで講義を受ける姿が印象的でした。そして、知識や技術も大切ですが、「なによりもまず、子どもって可愛いなと思うことが大切よ」とおっしゃった徳永

先生の言葉が子どもたちの心に残っていたことがうれしかったです。

講座を終えたあとの3回の実践では、いろいろな場で乳幼児と接する機会を持ちました。なかでも、コンサートやお話し会での託児は、子どもたちにとっては想像以上に大変だったようです。お母さんと離れて泣いている子、会場じゅうを走り回っている子…など。けれども、おとな同様、いやおとな以上に忍耐強く、子どもの目線で寄り添い、向きあう姿はなかなか頼もしいものでした。それぞれの実践後の反省会では、学習したことから実感できたことや新しい疑問などが出て、繰り返しての学習の必要性を感



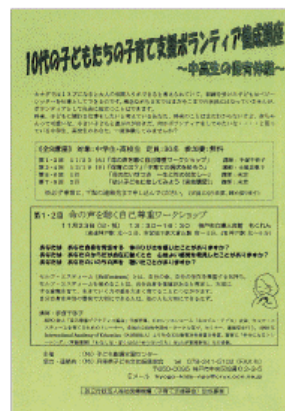
いのち  
「生命と向きあう」というテーマに対する考察

今回の講座は、10代の子どもたちを対象にしているということで、まずは「自分の命」に目を向けてほしいと思い、「自己尊重ワークショップ」をプログラムの最初にもってくることにこだわりました。参加した10代の子どもたちにとって、心をリラックスさせることはなかなか難しかったようですが、くすぐったい思いを感じながらも、自分を見つめ直すことができました。また、自分をほめることの心地よさから人をほめること、いたわることへの大切さに思いをつなげた様子もアンケートなどからうかがえました。

子育ての現状や出産の話聞いた時も、「自分の親もこんなにがんばって産んでくれたんだ」「苦勞して育ててくれたんだなあ」「自分が生まれた時もこんなに喜んでくれたんだらうな」などの声があがりました。心も体も不安定な10代

の子どもたちにとって、まず自分の命の大切さを感じる事が「生」を意識する第一歩だと思います。

そして、生まれたばかりの赤ちゃんと同じ重さや感触の人形を抱く子どもたちの緊張した顔や、妊産婦の模型で赤ちゃんが産道を下りてくるのを息をのんで見つめる子どもたちの様子などを思うと、「命」の尊さを講座の中で感じてくれたと確信します。





# 10代の子どもたちの子育て支援ボランティア養成講座 ～中高生の保育体験～

将来、子どもに関わる仕事をしたいと考えているあなた、将来のことはまだわからないけど、赤ちゃんって可愛いな、小さい子どもと遊ぶのが好きだ、何かボランティアをしてみたいな・・・と思っている中学生、高校生のあなた、一度体験してみませんか？

《全8講座》 対象：中学生・高校生 定員：30名 参加費：無料

第1回 命の声を聴く自己尊重ワークショップ ～フィーリングトレーニング～

11月23日（火・祝）13：30～15：00 神戸市立婦人会館 もくれん

第2回 命の声を聴く自己尊重ワークショップ ～ラブライフトレーニング～

11月23日（火・祝）15：00～16：30 神戸市立婦人会館 もくれん

講師：手塚千砂子

NPO 法人「自己尊重プラクティス協会」代表理事、心のレッスンルーム「心のジム・テツカ」主宰、セルフ・エスティームを育てるためのトレーナー。各地の自治体や団体・サークル等で、セミナー、講演等を行う。

第3回 保育ってどんなこと？ 12月19日（日）13：30～15：00 クリスタルビル6階 研修室

第4回 子育ての現状を知ろう ～社会の状況は？～

12月19日（日）15：00～16：30 クリスタルビル6階 研修室

講師：土屋 美恵子

東京都武蔵野市在住。1996年「保育サービスひまわりママ」を立ち上げ、1999年、NPOの認証を受ける。現在、武蔵野市議会議員、(特)日本子どもNPOセンター専務理事。

第5回 生と性のはなし ～感動！！生まれてくるいのち～

1月29日（土）13：30～15：00 神戸市総合福祉センター4階 第1会議室

第6回 生と性のはなし ～ちゃんと知っておきたい性の問題～

1月29日（土）15：00～16：30 神戸市総合福祉センター4階 第1会議室

講師：永原 郁子

大阪大学医学部付属助産婦学校卒業後、病院勤務。1993年、神戸市北区ひよどり台にて「マナ助産院」を開設。2001年より、地域の小中高校で性教育の授業や講演会などの活動を始める。

第7回 幼い子どもに接してみよう 2月12日（土）10：00～12：00 おさなご保育園

第8回 赤ちゃんのからだと心の発達について学ぼう

2月12日（土）13：00～14：30 おさなご保育園

講師：徳永 真理

西南学院短大児童教育科卒業後、杉の子保育園・太陽の子保育園などに保育士として勤務。1982年から社会福祉法人おさなご保育園園長。著書は絵本「ばいばいまたね」「ゆうちゃんは1さい」、「絵本で育つ子どものことば」「心をたがやす保育」など多数。

※講座修了後、3回の保育実践をします。(希望者のみ)

主催 (特)子ども劇場全国センター

協力・連絡先：(特)兵庫県子ども文化振興協会 tel 078-241-5102 (FAXも)

〒650-0095 神戸市中央区旭通り 2-3-5

メール hyogo-kids-npo@crux.ocn.ne.jp

独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業



# 10代の子どもたちの子育て支援ボランティア養成講座 ～中高生の保育体験～

カナダでは13才になると大人の仲間入りができると考えられていて、訓練を受けた子どもはベビーシッターを仕事としてできるのです。残念ながら日本ではまだそこまでの状況にはなっていませんが、ボランティアとして社会に役立つことはできます。

将来、子どもに関わる仕事をしたいと考えているあなた、将来のことはまだわからないけど、赤ちゃんって可愛いな、小さい子どもと遊ぶのが好きだ、何かボランティアをしてみたいな・・・と思っている中学生、高校生のあなた、一度体験してみませんか？

《全8講座》 対象：中学生・高校生 定員：30名 参加費：無料

第1・2回	11/23 (火)	「命の声を聴く自己尊重ワークショップ」	講師：手塚千砂子
第3・4回	12/19 (日)	「保育とは？」「子育ての現状を知ろう」	講師：土屋美恵子
第5・6回	1月	「命のたいせつさ ～生と性のはなし～」	講師：未定
第7・8回	2月	「幼い子どもに接してみよう（実技講習）」	講師：未定

※必ず事前に、下記の連絡先まで申し込んでください。（定員になり次第、締め切ります）

## 第1・2回 命の声を聴く自己尊重ワークショップ

11月23日（火・祝） 13：30～16：30 神戸市立婦人会館 もくれん  
（高速神戸駅 北へ2分、市営地下鉄大倉山駅 南へ4分、JR 神戸駅 北へ6分）

**あなたは あなた自身を肯定する 体のひびきを感じたことがありますか？**  
**あなたは あなたのからだ自在に動くとき 心地よい感覚を発見したことがありますか？**  
**あなたは あなたのいのちの声を 聴いたことがありますか？**

セルフ・エスティーム [Self-esteem] とは、自分の命、自分の存在を尊重する気持ち。  
セルフ・エスティームを高めることは、自分自身を価値があると肯定し、大切に  
する意識を育て、生きていく力や愛を大きく育てることにつながります。  
自分自身を本当の意味で大切にできる人は、他の人も大切にできるはず。



講師：手塚千砂子

NPO 法人「自己尊重プラクティス協会」代表理事、心のレッスンルーム「心のジム・テヅカ」主宰、セルフ・エスティームを育てるためのトレーナー。各地の自治体や団体・サークル等で、セミナー、講演等を行う。1998年 International Academy of Education (米財団法人) より社会文化教育功労者賞を受賞。著書に「幸せになるトレーニング」(学陽書房)「わたしは・ぼくはたいせつないのち」(れんが書房新社) など多数。

主催：(特) 子ども劇場全国センター

協力・連絡先：(特) 兵庫県子ども文化振興協会 tel 078-241-5102 (FAX も)  
〒650-0095 神戸市中央区旭通り 2-3-5  
Eメール hyogo-kids-npo@crux.ocn.ne.jp

独立行政法人福祉医療機構（子育て支援基金）助成事業



# 10代 広島県

の子どもたち(中高生)の子育て支援ボランティア養成事業

## 4講座

実施団体 特定非営利活動法人 子どもコミュニティネットひろしま(旧おやこ劇場ひろしま)  
 実施日 2004年12月23日(木・祝) 参加人数 のべ96名

	日時	講座名	講師
講座1	12月23日(木)	「生命の誕生と性について-1」	川口 一美氏 マザーリングくらぶ(助産師)
		出産という営みが胎児の努力と母親の協力で創られて行くこと、それを応援する体制が広がる必要があることを学ぶ。	
講座2	12月23日(木)	「生命の誕生と性について-2」	林 智恵子氏 マザーリングくらぶ(助産師)
		本物の胎盤に触り胎児と母親の命の絆を実感、また妊婦擬似体験をおとして動きや視界の制限を知り出産までの母親への支援を考えた。	
講座3	12月23日(木)	「命の声を聴く 自己尊重ワークショップ ～フィーリング トレーニング～」	手塚 千砂子氏 NPO法人自己尊重プラクティス協会代表理事 心のレッスンルーム「心のジム テツカ」主宰
		自分自身の命の営みを内面から感じ取り、自分の中にあるエネルギーに気づくワークショップ	
講座4	12月23日(木)	「命の声を聴く 自己尊重ワークショップ ～ラブライフ トレーニング～」	手塚 千砂子氏 NPO法人自己尊重プラクティス協会代表理事 心のレッスンルーム「心のジム テツカ」主宰
		自分を誉める、自分の良い所をどんどん出していくことでプラスのエネルギーに変えていくワークショップ	

※広島会場は、内容をまとめて4講座で実施した。

## 体験ボランティア

実施団体 特定非営利活動法人 子どもコミュニティネットひろしま(旧おやこ劇場ひろしま)  
 実施日 2004年12月16日(木)・2005年・2月12日(土)・27日(日) 参加人数 のべ40名

	日時	場所	内容
実践1	12月16日(木)	アステールプラザ 中ホール	小学校高学年～おとなを対象にした鑑賞会の際、8ヶ月～6才の託児。
実践2	2月12日(土)	アステールプラザ 大ホール	3才からの人形劇鑑賞会(はらべこあおむし)の際、3ヶ月～8才の託児。
実践3	2月27日(日)	アステールプラザ 多目的ホール	おとな向けの芝居の際、5ヶ月～2才の託児。

## 事業を終えて

広報に関しては、地元新聞社の紙面掲載、各公民館へのチラシ配布、口コミで行った。



過去の経験からも、座学と実体験が連動していると、子どもたちの参加意欲も高く、体験後の感想もその効果がよく現れていた。座学だけのプログラムだと、子どもたちの参加率は低く、今回も、講座への参加は、祝日とクリスマス直前という日程で、参加者が非常に少なかった。改めて託児体験を伴う講座の組み方が効果的だと思い知らされた。託児現場では、預ける親からの感謝の言葉、まわりでサポートするおとなの評価などが直接的に聞かれ、何よりも、小さな子どもたちと会えるという喜びがあるため、子どもたちの「もっとやりたい」という意欲につながっていくようだ。

実施形態は、常設した託児の場所がなく、広く市内から広報を通して集まってくる場合の学習プログラムは、2日間で(土・日などを使用して)修了する内容が参加しやすく効果的だと考えられる。





# 10代の子どもたちの 保育ボランティア養成講座とワークショップ

小さな子どもたちの保育体験をやりたいなあ、と思っている人たちに託児体験とお勉強の講座を実施します。もっともっと体験したいと思っている人はぜひ参加してください。

## ◆ 講座とワークショップ ◆

日 時：12月23日（木・祝）10：00～17：00

場 所：広島国際学院大学立町キャンパス

（広島市中区本町13番7号 広電立町電停歩いて1分）

対 象：10代の人 参加費：無料 定員：30名



### 講座 I,II

#### 「生命と性について」

10:30～

講座 I：生命の誕生と性についての話し

12:30

講座 II：妊婦疑似体験・ビデオ

講 師：マザーリングくらぶ（助産師）

講座 I：川口一美 講座 II：林 智恵子

### 講座 III,IV ワークショップ

#### 「命の声を聴く自己尊重ワークショップ」

14:00～

自分の命、自分の存在を大切に思うことは、生きていく力や愛を育てることにつながります。自己肯定ワークショップをとおして実感してみましよう。

17:00

講 師：手塚千砂子さん（NPO 法人自己尊重プラクティス協会代表理事）

## ◆ 託児体験 ◆ 鑑賞会での託児体験です。



日時・場所／

2004年 12月16日（木）18:00～21:00 アステールプラザ・中ホール

2005年 2月12日（土）13:00～16:00 アステールプラザ・大ホール

2005年 2月27日（日）13:00～16:00 アステールプラザ・多目的ホール

お申込は：下記申込書を記入の上、問合せ先までお送りください。（電話・E-mailでも受付ます）

主催：NPO法人子どもNPO・子ども劇場全国センター

実施・お問合せ先：おやこ劇場ひろしま（NPO法人（申請中）子どもコミュニティネットひろしま）

〒730-0802 広島市中区本川町2-6-10-304 TEL082-292-6200 FAX082-292-7416

Email kids.hr@galaxy.ocn.ne.jp

## 『10代の子どもたちの保育ボランティア養成講座とワークショップ』申込書

名 前	( 姓 )
住 所	〒 —
TEL	
FAX	
E-mail	

※参加可能なところに○を付けてください。

( ) 12月23日（木・祝）10:00～16:30（弁当持参）  
（国際学院大学立町キャンパス）

託児体験

( ) 2004年12月16日（木）18:00～21:00  
（アステールプラザ・中ホール）

( ) 2005年 2月12日（土）13:00～16:00  
（アステールプラザ・大ホール）

( ) 2005年 2月27日（日）13:00～16:00  
（アステールプラザ・多目的スタジオ）